

2025年度事業報告書

自 2025年4月1日

至 2026年3月31日

一般財団法人社会変革推進財団

目 次

第1. 法人概要

1. 設立年月日	1
2. 定款に定める目的	1
3. 定款に定める事業内容	1
4. 主たる事務所	1
5. 役員（理事・監事）及び評議員に関する事項	1
6. 専門委員等に関する事項	2
7. 職員に関する事項	3
8. 許認可に関する事項	3

第2. 管理業務

1. 理事会	4
2. 評議員会	8
3. アドバイザリー委員会	8
4. 専門委員会	9
5. コンプライアンス委員会	9
6. 事務局	10

第3. 事業の状況

I. 事業の実施内容及び成果	11
1. 4分野における公益を目的とする株式会社等への投資・資金提供、及び非財務支援の企画・実施	11
2. 社会課題の根本的解決のための実践知づくりとその波及	12
3. 公益を目的とした企業やインパクト投資家等の新しい経済を志向する多様な実践者が集う場づくり	13
II. 収支及び正味財産増減の状況	14
III. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実	14

2025年度事業報告書

第1. 法人概要

1. 設立年月日

2018年9月20日

2. 定款に定める目的

この法人は、世界の急速な変化の中で直面する多種多様な社会課題に対して、自律的・持続的な解決と多様な価値創造が起こる包摂的な社会の実現のため、社会的・経済的資源循環の仕組みを構築し、社会における大きな変革（ソーシャルイノベーション）の実現に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1)資金提供の手法開発及び実践事業
- (2)経営支援事業
- (3)調査研究事業
- (4)啓発及び広報事業
- (5)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 主たる事務所

東京都港区赤坂1丁目11-28 JMFビル 赤坂01 6F

TEL：03-6229-2622

5. 役員（理事・監事）及び評議員に関する事項

(1)役員

役職	氏名	常勤・非常勤	担当職務・現職
理事長*	大野修一	常勤	全体総括・笹川アフリカ財団評議員
専務理事*	青柳光昌	常勤	全体総括・事業統括
常務理事	工藤七子	常勤	事業統括
〃	高石良伸	常勤	管理統括
理事	永田俊一	非常勤	三菱UFJ信託銀行信託博物館長
〃	有馬充美	非常勤	元みずほ銀行執行役員 株式会社西武ホールディングス社外取締役
〃	中島真	非常勤	株式会社CAMPFIRE代表取締役 執行役員 CEO
監事	五十嵐裕美子	非常勤	五十嵐綜合法律事務所 弁護士

//	角野里奈	非常勤	角野里奈公認会計士事務所 公認会計士
----	------	-----	--------------------

* 代表理事

(2) 評議員

氏名	職業
大田弘子	政策研究大学院大学学長、日本生産性本部副会長
笹川順平	公益財団法人日本財団 理事長
柴田弘之	信金中央金庫理事長
高橋陽子	公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長
樽見弘紀	北海学園大学名誉教授
堀内勉	多摩大学サステナビリティ経営研究所教授・所長、(社)100年企業戦略研究所 所長、(株)ボルテックス 取締役会長

(3) アドバイザリー委員

氏名	職業
磯崎功典	キリンホールディングス株式会社代表取締役会長
杉田亮毅	日本経済新聞社参与/日本経済研究センター参与
田中明彦	独立行政法人国際協力機構 (JICA) 理事長
丹呉泰健	日本たばこ産業株式会社社友、元財務事務次官
中江有里	女優、作家
二橋正弘	自治総合センター顧問、元内閣官房副長官

6. 専門委員等に関する事項

(1) 投資選定委員

氏名	職業
太田直樹	株式会社 New Stories 代表取締役 株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構 社外取締役 総務省アドバイザー
鈴木榮	一般社団法人ソーシャル・イノベーション・パートナーズ代表理事
高槻大輔	一般社団法人ソーシャル・イノベーション・パートナーズ代表理事 シーヴィーシー・アジア・パシフィック・ジャパン(CVC)取締役プリンシパル
野宮博	一般社団法人ソーシャル・イノベーション・パートナーズ常務理事 株式会社クロスポイント・アドバイザーズ代表取締役
陶山祐司	Tokyo Zebras Unite 共同創設者 / 代表理事 株式会社 至真庵 代表取締役
鳥居希	Bマーケット・ビルダージャパン共同代表

(2) 専門家アドバイザー（投資選定アドバイザー）

氏名	職業
湯浅エムレ秀和	株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ ディレクター

7. 職員に関する事項

職員数：合計 20名

常勤 16名、非常勤 4名、出向 1名、派遣 3名

8. 許認可に関する事項

登記事項	件数
(1) 評議員辞任・理事重任登記	1件
(2) 評議員辞任・就任、定款変更登記	1件

第2.管理業務

1. 理事会

本年度における理事会は、次の通り第76回から第87回まで計12回開催した。

(ア) 第76回理事会

開催日時：2025年4月25日（金）午後3時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第1号議案 評議員会の招集の決定に関する件

報告事項：

報告事項1 2024年度一般社団法人B Market Builder Japanへ業務委託の活動報告について

報告事項2 SIIFIC ウェルネスファンドの新規投資先決定について

報告事項3 PSI の休眠預金ファンドへのLP 出資について

報告事項4 2024年度目標（OKR）結果報告および2025年度目標（OKR）月次報告について

報告事項5 人事異動の件

報告事項6 随意契約の件

(イ) 第77回理事会

開催日時：2025年5月26日（月）午後3時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第1号議案 2024年度事業報告及び決算に関する件

第2号議案 公益認定の申請方針の件

第3号議案 定款および規程類変更の評議員会提出議案について

第4号議案 PSIが組成する休眠預金事業ファンドへのLP出資の件

第5号議案 一般社団法人B Market Builder Japanへの業務委託契約締結に関する件

第6号議案 一般社団法人ソーシャル・イノベーション・パートナーズとのジャパン・ベンチャー・フィランソロピー基金事業2024年度の業務委託契約変更及び2025年度の運営にかかる業務委託契約締結の件

報告事項：

報告事項1 2025年度目標（OKR）月次報告について

報告事項2 随意契約の件

(ウ) 第78回理事会

開催日時：2025年7月25日（金）午後1時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第1号議案 規程類の制定について

報告事項：

報告事項 1 人事異動の件

報告事項 2 GSG Impact Global Leadership Meeting開催報告について

報告事項 3 Social Impact Day2025開催報告について

報告事項 4 インパクトコンソーシアム成果報告について

報告事項 5 2025年度目標(OKR)月次報告について

報告事項 6 四半期収支報告について

報告事項 7 随意契約の件

(エ) 第79回理事会

開催日時：2025年8月22日（金）午後2時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第1号議案 ジャパン・ベンチャー・フィランソロピー基金事業支援先会社の支援期間及び社債償還期限再々延長について

報告事項

報告事項 1 2025年度目標(OKR)月次報告について

報告事項 2 随意契約の件

(オ) 第80回理事会

開催日時：2025年9月30日（火）午前10時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項

第1号議案 公益認定の申請を行う件

第2号議案 2025年度日本財団への新基金設立のための助成金申請に関する件

報告事項

報告事項 1 休眠預金2021年度事業成果報告及び監査実施について

報告事項 2 SIIFICウェルネスファンドの新規投資先決定について

報告事項 3 海洋領域でのファンド事業への参画検討について

報告事項 4 機会格差領域における新規投資先検討について

報告事項 5 合宿実施報告について

報告事項 6 2025年度目標(OKR)月次報告について

報告事項 7 随意契約の件

(カ) 第81回理事会

開催日時：2025年10月30日（木）午後2時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項

第1号議案 2026年度日本財団への助成金申請（通常募集1号）に関する件

第2号議案 2026年度日本財団への助成金申請（通常募集2号）に関する件

第3号議案 2026年度日本財団への助成金申請（基金2号）に関する件

報告事項

報告事項1 人事異動の件

報告事項2 機会格差領域における投資先検討について

報告事項3 GSG Impact Global Leadership Meeting開催修正報告について

報告事項4 2025年度目標(OKR)月次報告について

報告事項5 四半期収支報告について

報告事項6 随意契約の件

（キ）第82回理事会

開催日時：2025年11月28日（金）午後2時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項

第1号議案 評議員会の招集の決定に関する件

報告事項

報告事項1 人事異動の件

報告事項2 機会格差領域における投資先検討について

報告事項3 SIIFICウェルネスファンドの新規投資先決定について

報告事項4 2025年度目標(OKR)月次報告について

報告事項5 随意契約の件

（ク）第83回理事会

開催日時：2025年12月26日（金）午後2時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項

第1号議案 機会格差領域における新規投資先への出資の件

第2号議案 ジャパン・ベンチャー・フィランソロピー基金事業支援先会社の支援期間及び社債償還期限再々々延長の件

報告事項

報告事項1 規程類の改正について

報告事項2 海洋領域でのファンド事業への融資検討について

報告事項3 2025年度目標(OKR)月次報告について

報告事項4 随意契約の件

（ケ）第84回理事会

開催日時：2026年1月29日（木）午後3時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項

第1号議案 投資選定委員委嘱の件

報告事項

報告事項 1 人事異動の件

報告事項 2 四半期収支報告について

報告事項 3 2025年度目標(OKR)月次報告の件

報告事項 4 随意契約の件

(コ) 第85回理事会 (決議の省略)

理事会の報告・決議があったものとみなされた事項の内容：

第1号議案 公益認定の申請の件

理事会の報告・決議があったものとみなされた事項を提案した理事：青柳光昌

理事会の報告・決議があったものとみなされた日：2026年2月20日

(サ) 第86回理事会

開催日時：2026年2月26日（火）午後3時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第1号議案：海洋領域でのファンド運営事業者への融資について

報告事項

報告事項 1 2026～2030年中期戦略と2026年度事業計画について

報告事項 2 人事考課制度の見直しについて

報告事項 3 地域活性領域における新規案件について

報告事項 4 2025年度目標(OKR)月次報告について

報告事項 5 随意契約の件

(シ) 第87回理事会

開催日時：2026年3月26日（木）午後2時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第1号議案 2026年度～2030年度中期戦略、2026年度事業計画・目標(OKR)及び収支予算に関する件

第2号議案 重要な助成金契約締結の件

第3号議案 規程類の改定の件

第4号議案 エグゼクティブアドバイザー選任の件

第5号議案 コンプライアンス委員長選任の件

第6号議案 投資選定委員委嘱の件

第7号議案 ジャパン・ベンチャー・フィランソロピー基金事業支援先会社株式売却の件

第8号議案 Asia Impact Nights2026開催に係る会場予約契約締結および関連費支出の件

第9号議案 各種契約締結の件

報告事項

- 報告事項 1 人事異動の件
- 報告事項 2 内規類の改定について
- 報告事項 3 随意契約の件

2. 評議員会

本年度における評議員会は、次の通り計3回開催した。

(ア) 第 14 回評議員会

開催日時：2025年 5月 29 日（木）午後 1 時 30 分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

審議事項 1 2024 年度決算に関する件

審議事項 2 理事の選任に関する件

審議事項 3 定款の改定に関する件 審議事項 4 規程類の改定に関する件

報告事項：

報告事項 1 2024年度事業報告書について

報告事項 2 評議員の辞任について

(イ) 第 15 回評議員会

開催日時：2025 年 12 月 12 日（金）午後 3 時 00 分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

審議事項 1 評議員の選任に関する件

審議事項 2 定款の改定に関する件

報告事項：

報告事項 1 2025 年度事業状況について

報告事項 2 評議員の辞任について

(ウ) 第 16 回評議員会（決議の省略）

評議員会の報告・決議があったものとみなされた事項の内容：

第 1 号議案 規程の改定の件

評議員会の報告・決議があったものとみなされた事項を提案した理事：大野修一

評議員会の報告・決議があったものとみなされた日：2025年12月26日

3. アドバイザリー委員会

本年度におけるアドバイザリー委員会は、次の通り1回開催した。

(ア) アドバイザリー委員会

開催日時：2026 年 2 月 25 日(水)午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分

4. 専門委員会

本年度における専門委員会は、次の通り7回開催した。

(ア) 投資選定委員会

開催日時：2025年5月7日(水)10時00分～11時00分

(イ) 投資選定委員会

開催日時：2025年8月12日(火)12時00分～12時30分

(ウ) 投資選定委員会

開催日時：2025年10月30日(木)12時00分～13時00分

(エ) 投資選定委員会

開催日時：2025年12月17日(水)14時00分～15時00分

(オ) 投資選定委員会

開催日時：2026年2月5日(木)17時00分～18時00分

(カ) 投資選定委員会

開催日時：2026年2月20日(金)13時00分～14時00分

(キ) 投資選定委員会

開催日時：2026年3月9日(月)10時00分～11時00分

5. コンプライアンス委員会

本年度におけるコンプライアンス委員会は、次の通り計4回開催した。

(ア) コンプライアンス委員会

開催日時：2025年6月6日(金)

(イ) コンプライアンス委員会

開催日時：2025年9月12日(金)

(ウ) コンプライアンス委員会

開催日時：2025年12月17日(水)

(エ) コンプライアンス委員会

開催日時：2026年3月19日(金)

6. 事務局

2026年3月31日現在における事務局の機構は、コンプライアンス室、総務部、事業部、知識創造部、海外連携部の4部1室で構成されている。

第3. 事業の状況

当財団は、日本が少子化・高齢化などにより、医療・介護システムの疲弊、子供の貧困、地方の経済衰退とコミュニティの消失等の構造的課題に直面する中、「社会課題解決と多様な価値創造が自律的・持続的に起こる社会」を目指し、「自助・公助・共助の枠組みを超えて、社会的・経済的資源循環のエコシステムをつくる」のミッション達成に向けて、以下の3つの事業の柱に基づき活動を行った。

1. 公益を目的とする企業との協働による、「社会課題の根本的解決（システムチェンジ）」の事例・実績づくり
2. 「社会課題の根本的解決（システムチェンジ）」のための実践知づくりとその波及
3. 公益を目的とする企業やインパクト投資家等の新しい経済を志向する多様な実践者が集う場づくり

I. 事業の実施内容及び成果

1. 公益を目的とする企業との協働による、社会課題の根本的解決の事例・実績づくり

当財団では2017年の組織設立以降、公益を目的とする株式会社への経営支援、インパクト投資、インパクト測定・マネジメント等の領域で自ら実践しモデル開発をすると同時に国内での普及啓発を主導してきた。当財団としては、それぞれの領域で一定の成功モデルの創出や海外の先進事例の獲得が出来、その波及効果として金融機関等を中心に多様な実践者が増え市場規模が拡大しつつある。一方で、当財団自身も含め、これらの活動実際に日本における重要な社会課題の解決を大きく前進させるような事例・実績を出すまでには至っていない。今後は当財団が開発してきた投資・支援手法が社会課題の根本的な解決に繋がるような具体的な成果を創出していく必要がある。

その為の戦略として、一昨年から「ヘルスケア」「地域活性化」「格差問題」の3分野を特に注力する社会課題として設定し、当該分野の課題の構造分析と課題解決の仮説を整理した「ビジョンペーパー」を作成した。更に、昨年度は実行を開始する年と位置付け、各分野のビジョンペーパーにもとづき具体的な投資・支援・協働計画を策定し、公益を目的とする株式会社等への出資・経営支援等を3団体に対して開始した。2025年度は、当該3分野および新たに「海洋」を加えた4分野において、投資先の開拓と課題解決に向けた取組を拡大した。上記を通じて、当財団の取組が他のインパクト投資家その他の実践者に参照・模倣され、当該4分野での連携が拡大すると共に、同種の取組が多様な社会課題領域にも広がることを目指した活動を行った。

実施内容と成果

1. 4分野における公益を目的とする株式会社等への投資・資金提供、及び非財務支援の企画・実施
 - a. ヘルスケア領域において、SIIFICウェルネスファンドを通じて2社に新規出資を実

施、累計5社に伴走支援を行った。

- b. 地域活性化領域において、プラスソーシャルインベストメント社が新たに設立した近畿四国ソーシャルインパクトファンドへの出資を行い、同ファンドの投資戦略立案への非財務支援を企画・実施した。同ファンドを通じて1社への出資実行を決定した。
 - c. 格差問題領域において、安価で快適な住宅の提供を起点とした社会関係支援を行う株式会社LivEQuality大家さんに出資した。シングルマザー起業支援ファンドの第二期を開始し、ファンドへの出資を行った。
 - d. 海洋領域において、日本を含むアジアでの海洋スタートアップへの投資に取り組むファンドとの協働に向けて、課題解決戦略の立案に係る協議に着手した。
2. 上記4分野における非営利団体や自治体、大企業との協働、政策提言、専門家との連携、富裕層やインパクト志向の投資家・資金提供団体の巻き込みの実施
- a. 格差問題の領域で、長野県において企業及び行政関係者との協働に着手した。また、地域活性化の領域で、地域住民が体験する主観的なウェルビーイングの測定・調査に関して学術専門家及び岡山県西粟倉村役場と連携協定を締結した。
 - b. 地域活性化・格差問題に関して、当該領域を投資対象とする上場株インパクト投資家・インパクトベンチャーキャピタルに対しアドバイザーを実施した（3件）
3. 既存の支援先に対する経営伴走支援、インパクト測定・マネジメント実施支援 ※既存支援先は末尾案件リスト参照
- a. SIIFICウェルネスファンドの投資先のうち1社が、同ファンドの伴走支援を経て上場を実現した。（1件）
 - b. はたらくFUNDの投資先11社のうち、既にExitした1社を除く10社に「インパクトIPO」に向けた伴走支援を実施した。
 - c. 地域活性化・格差問題に取り組む3社を含む既存支援先に、経営やインパクト測定・マネジメントに関する伴走支援を実施した（11件）

2. 社会課題の根本的解決のための実践知づくりとその波及

当財団のミッションは「自助・公助・共助の枠組みを超えた社会的・経済的資源循環のエコシステムをつくる」ことであり、自ら先行事例・実績を創り出すだけでなく、その取り組みが他の組織や機関にも影響を与え、業界や社会全体に波及していくことが重要である。そのために、本事業では、上記1の事例・実績づくり事業の具体的な実践例と成果を可視化・明確化し、グローバルの実践例や知見とも相互に行き来することで、その体系化・仕組化を進め、関係者に伝播していくことを進める。

2024年度は、『『新しい経済』の実践知に基づく形式知づくりとその波及』（上記2）と「多様な実践者が集う場づくり」（下記3）を実施するプラットフォームとして昨年度に当財団内に設立した「インパクト・エコノミー・ラボ」を通じた活動を加速させている。社会課題解決と成長の両立を志向するインパクトスタートアップを始めとした公益を目的とした企業が、上場を経た後も継続的な企業価値向上を実現できるよう、経営や情報開示や対話に係るガイドラインを発行した。当ラボの活動として、グローバルで最先端のインパクトの測定・マネジメント（IMM）手法

に関する様々な実証事業に日本から初めて継続して参画している。また、個社の公益を目的とした企業を支援するだけでは解決が難しいような構造的な社会課題についても、インパクト投資の発展形として、根本課題の解決を志向するシステムチェンジ投資についても、国内外の先行事例の調査を通じて、事例集として知見の公開を行った。日本政府として、「骨太の方針」等の文書に引き続き「インパクトスタートアップ」や「インパクト投資」の重要性が位置付けられたことを受け、インパクト投資やインパクト測定・マネジメント（IMM）の有識者として、省庁からのヒアリングや有識者会議参画への要請に応えると同時に、日本政府が主導する「インパクトコンソーシアム」の立上げや運営に際して知見を提供した。2025年度は引き続き、3課題領域を中心に社会課題の根本的な解決のための実践知づくりを目指し、調査研究活動と情報発信を積み重ねた。

実施内容と成果

1. ヘルスケア（介護人材不足と高齢者の孤立）、地域活性化（人口減少下でのコミュニティ維持）、格差問題（女性と子どもの経済格差）の3つの領域における調査研究や実証事業を通じて得た知見を基に行う政策提言
 - a. ヘルスケア領域および格差問題で、それぞれ「豊かな老い」と「住宅を通じた家庭格差解消支援」に関するリサーチペーパーを作成・配信した（2件）。地域活性化領域および海洋領域では、課題構造分析を作成・更新した。各領域とも政策提言には至らなかった。
2. インパクト測定・マネジメントについて、海外機関との連携等を通じた調査研究、情報発信
 - a. 社会課題の根治に取り組む国際的団体に継続的に参画し、ブログ記事で情報発信したことで、課題の根本解決（システムチェンジ）を志向する投資家が一定程度増加した。
3. システムチェンジ（課題の根本解決）及び「新しい経済」に関する調査研究、情報発信
 - a. 当財団の新しい経済を志向する取組みに関連してブログ記事制作・発信（6件）インパクト投資に関する消費者・金融機関調査レポートの発行1件
 - b. 金融機関調査、消費者認知度調査、スタートアップ調査の報告書を発行（3件）
4. 当財団、または投資／支援先によるインパクトレポートの発行
 - a. 当財団及びヘルスケアニューフロンティアファンドインパクトレポートの発行（2件）

3. 公益を目的とした企業やインパクト投資家等の新しい経済を志向する多様な実践者が集う場づくり

社会的・経済的資源循環のエコシステムの発展のためには新しい経済に挑戦する様々な主体が繋がり、それぞれの学びを共有しながら更に実践を深め、広げていくことが不可欠である。当財団は新しい経済を志向する多様な実践者が集い、繋がり、学び合う「学習するコミュニティ」を作り、豊かなエコシステムの形成に貢献する。また、当財団自身も多様な実践者が行き交う場であり続ける。また、当財団の活動や当財団が開発した知見をより広く世の中に示す広報活動を強

化し、社会課題解決の事例が広く実践されることを目指す。

2024年度は、「GSG Impact JAPAN（旧称・GSG国内諮問委員会）」をインパクト投資の実践者である金融機関のみならず、公益を目的とした企業も中心となって運営していく体制に移行と具体的なプロジェクトを通じた協働に着手をした。「インパクト志向金融宣言」の署名機関は一昨年度11月設立時21機関から84機関（2025年3月1日現在）まで増え、署名機関が主体的に各種分科会を運営し、活動報告書（プログレスレポート）も発行した。本宣言についても、インパクト投資に取り組む金融機関の自主的なコミュニティとして、自律的な運営体制への移行が完了した。加えて、金融庁と経済産業省が事務局となり、2023年11月に発足した「インパクトコンソーシアム」について、SIIFやSIIFが事務局を務めるGSG Impact JAPANとして、コンソーシアムにおける「オーガナイズング・デスク」の役割を担い、当コンソーシアムを通じて、公益を目的とした企業やインパクト投資家等に資する場づくりも行っている。

2025年度は、3課題領域を中心とした社会課題の根本解決に必要となる、公益を目的とした企業・投資家・中間支援者・官公庁・自治体・専門家・メディア等との持続的なネットワークやコミュニティを形成していき、GSG Impact JAPANやインパクト・コンソーシアムまた重点課題領域を通じて一定程度達成できた。

実施内容と成果

1. 4つの課題領域におけるネットワークの構築と協調投資
 - a. 格差問題に関して、金融機関や大企業・学術研究者等による勉強会を開催した（2件）。協調投資は実現しなかった。
2. 金融庁主催のインパクトコンソーシアムの運営支援を通じた議論促進と新たな政策の創出
 - a.
 - b. インパクトコンソーシアムにおいて、入門編勉強会を実施（3件）、また同コンソーシアムの活動紹介をした記事制作（2件）。新たな政策の創出には至らなかった
3. WebsiteやNoteブログを通じた国内外への情報発信を契機として、新たな協働事業が生まれる
 - a.
 - b. Noteブログ発信（65件）等実施し協働の問い合わせメールは139件あった。そのうち1社についてSIIFが運営するファンドからの出資に繋がった

II. 収支及び正味財産増減の状況

2025年度財務諸表参照

III. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

該当なし

以上

【成果物・参考資料】

既存案件一覧

	出資・助成先名	事業内容	支援期間
1	ヘルスケアニューフロンティアファンド	神奈川県が組成したヘルスケア分野におけるベンチャー投資ファンド	2018年～2028年
2	プラスソーシャルインベストメント	地域におけるインパクト投資の仲介機関。株主としてのモニタリングと地方創生分野での連携を模索	2018年～
3	アドレス	二拠点居住のインフラを作り地方創生に貢献	2019年～
4	シングルマザー起業支援ファンド	シングルマザー起業家に資金提供と経営伴走支援を行うファンド。金融弱者への支援モデル作り	2019年～
6	ヘラルボニー	日本財団ソーシャルチェンジメーカーズ卒業生。障害者の自立に取り組む。	2020年～
7	エーテンラボ	日本財団ソーシャルチェンジメーカーズ卒業生。生活習慣改善アプリの開発・販売。	2020年～
8	ココホレジャパン	小規模零細企業の事業承継を支援するプラットフォーム運営	2021年～
9	Zebras and Company	株式上場を前提としないベンチャー企業向けの資金提供と経営伴走支援	2021年～
12	日本ベンチャーフィランソロピー基金	社会起業家に対する資金提供及び経営伴走支援	2022年～
13	エーゼログループ	地域活性化領域において、地域の社会・経済の持続性確立を目指す、自然・経済・社会関係資本を活用した複数事業の運営	2024年～
14	はたらクリエイト	機会格差領域において、ジェンダーペイギャップ（男女間の賃金格差）を解消する企業経営モデルの実現を目指す企業	2024年～

15	AiCAN	機会格差領域において、児童虐待の対応と予防を目指すDX企業	2024年～
16	シングルマザー起業支援ファンド 第2期	機会格差領域において、シングルマザー起業家に資金提供と伴走支援を行うファンドの第2期分への出資	2024年～2027年
17	日本インパクト投資2号ファンド（通称：はたらくFUND）	多様な働き方・生き方の実現に資するスタートアップに出資・伴走支援を行うインパクト・ベンチャーキャピタルの運営	2019年～2029年
18	SIIFICウェルネスファンド	ヘルスケア領域のスタートアップに出資・伴走支援を行うインパクト・ベンチャーキャピタルの運営	2022年～2034年
19	近畿四国SIF投資事業有限責任組合	プラスソーシャルインベストメント社が運営を担う休眠預金を活用した地域課題解決ファンドへの出資及びアドバイザー	2025年～2034年 （2年延長可能性あり）
20	株式会社LivEQuality大家さん	家庭格差領域において住宅提供を起点とした支援を行う「アフォーダブルハウジング事業」のモデル創出・展開支援	2026年2月～2034年1月

成果物

1.日本におけるインパクト投資の現状と課題 2025年度調査

URL：<https://fields.canpan.info/report/detail/32472>

2. 2025年度インパクト投資に関する消費者意識調査

URL：<https://fields.canpan.info/report/detail/32484>

3. インパクトを志向するスタートアップのインパクトへの取り組み状況と資金調達における課題等に関するアンケート調査

URL：<https://fields.canpan.info/report/detail/32488>

4.ヘルスケアニューフロンティアファンドインパクトレポート

URL：<https://fields.canpan.info/report/detail/32491>

5. SIIFインパクトレビュー

URL : <https://fields.canpan.info/report/detail/32495>

6. ヘルスケア領域における「豊かな老い」リサーチペーパー

URL : <https://fields.canpan.info/report/detail/32498>